

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年9月26日(2019.9.26)

【公開番号】特開2019-134739(P2019-134739A)

【公開日】令和1年8月15日(2019.8.15)

【年通号数】公開・登録公報2019-033

【出願番号】特願2018-17781(P2018-17781)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月1日(2019.8.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

所定表示を表示可能な表示手段と、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出と、前記示唆演出の実行に対応して前記表示手段に表示した所定表示を用いた所定動作を行い所定表示の表示態様を特定態様とする所定演出と、を少なくとも実行可能な演出実行手段と、

を備え、

前記所定演出は、第1所定演出と、該第1所定演出とは演出態様の異なる第2所定演出と、を含み、

前記演出実行手段は、前記所定演出を実行する前に、第1特別演出と、該第1特別演出とは演出態様が異なる第2特別演出と、を含む特別演出を実行可能であって、

前記第2所定演出が実行される場合は、前記第1所定演出が実行される場合よりも高い割合で前記有利状態に制御され、

前記第2特別演出が実行される場合は、前記第1特別演出が実行される場合よりも高い割合で前記第2所定演出が実行され、

前記特別演出は、前記所定演出の実行を示唆する演出であり、

前記演出実行手段は、前記特別演出を異なるタイミングにおいて実行可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前記課題を解決するために、本発明の手段1に記載の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当たり遊技状態)に制御可能な遊技機(例えば、パチンコ遊技機1)であって、

所定表示(例えば、スペシャルタイマを含むタイマ画像148SGS005Tや、ノーマルタイマを含むインターフェイス領域148SG005I)を表示可能な表示手段(例

えは、画像表示装置 5) と、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出 (例えば、リーチ演出やカットイン演出) と、前記示唆演出の実行に対応して前記表示手段に表示した所定表示を用いた所定動作 (例えば、ノーマルタイマやスペシャルタイマの値を減算する動作) を行い所定表示の表示態様を特定態様 (例えば、ノーマルタイマやスペシャルタイマをタイマアウト (ノーマルタイマやスペシャルタイマの値を 0 とする)) とする所定演出 (例えば、ノーマルタイマ演出やスペシャルタイマ演出) と、を少なくとも実行可能な演出実行手段 (例えば、演出制御用 CPU120 が図 10 - 14 に示す可変表示中演出処理を実行する部分) と、

を備え、

前記所定演出は、第 1 所定演出 (例えば、ノーマルタイマ演出) と、該第 1 所定演出とは演出態様の異なる第 2 所定演出 (例えば、ヒスペシャルタイマ演出) と、を含み、

前記演出実行手段は、前記所定演出を実行する前に、第 1 特別演出 (例えば、第 1 タイマ演出実行示唆演出) と、該第 1 特別演出とは演出態様が異なる第 2 特別演出 (例えば、第 2 タイマ演出実行示唆演出) と、を含む特別演出を実行可能であって (例えば、演出制御用 CPU120 が図 10 - 15 に示すタイマ演出実行示唆演出実行処理を実行する部分) 、

前記第 2 所定演出が実行される場合は、前記第 1 所定演出が実行される場合よりも高い割合で前記有利状態に制御され (例えば、第 2 タイマ演出実行示唆演出が実行される場合は、第 1 タイマ演出実行示唆演出が実行される場合よりも高い割合でスペシャルタイマ演出が実行される部分) 、

前記第 2 特別演出が実行される場合は、前記第 1 特別演出が実行される場合よりも高い割合で前記第 2 所定演出が実行され (例えば、第 2 タイマ演出実行示唆演出が実行される場合は、第 1 タイマ演出実行示唆演出が実行される場合よりも高い割合で大当たり遊技状態に制御される部分) 、

前記特別演出は、前記所定演出の実行を示唆する演出であり (例えば、図 10 - 19 及び図 10 - 20 に示すように、ノーマルタイマ演出やスペシャルタイマ演出よりも前に第 1 タイマ演出実行示唆演出や第 2 タイマ演出実行示唆演出を実行する部分) 、

前記演出実行手段は、前記特別演出を異なるタイミングにおいて実行可能である (例えば、変形例 155SG - 2 として図 10 - 26 に示すように、第 1 タイマ演出実行示唆演出と第 2 タイマ演出実行示唆演出との実行タイミングが異なる部分)

ことを特徴としている。

この特徴によれば、第 1 特別演出と第 2 特別演出のどちらが実行されるかに対して遊技者を注目させることができるので、遊技興味を向上できる。